

オホーツクの風

令和3年12月22日(水) 0026号

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会

事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

第1期生のお二人

共通科目合格 区分別へ

特定行為研修制度

北見赤十字病院は医師の手順書に沿って一定の医療行為が出来る看護師を養成する「特定行為研修」の指定機関に今年認定された。10月5日、第1期生の入講式が行われ、研修が始まっている。

共通科目の「特定行為共通科目統合実習」が11月末に修了し、見事に第1期生お二人が合格した。

「特定行為研修」は専門性を有する看護師が医師の判断を待たずに、一定の診療補助が出来るようにした制度です。病院の病棟や外来での医療行為をすることで、今後一層要望が高まる在宅医療を支える専門性の高い看護師を養成することで医師と患者の負担軽減にもつながる。

北見赤十字病院は「特定行為研修」の指定機関に認定されると即座に齊藤副院長が委員長に就任し、「特定行為研修管理委員会」を立ち上げた。委員は看護部長・看護副部長・

教育研修推進副室長(事務局)そして外部の医師(美幌在住)で、委員会はカリキュラムの編成、講師の選任、研修の運営管理、受講生の合格判定などを行う。

学習の内容

全てに共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」からなっている。

今回入構したお二人は皮膚・排泄ケア認定看護師です。

「共通科目」のうち講義は以前に学習が終了しているのが免除され、今回の「共通科目」の研修対象



10月5日、院内で行われた入講式での入構生・宣誓

講師は医局の先生方で、通常診療と講座を両立させ、多忙にも係わらず、分かりやすく親切に授業を展開している。

各部門の取り組み

研修は通常勤務と並行して行われている。そのため受講生の都合を優先して勤務割が決められている。看護現場に状況を説明し、受講生への配慮を求めたり、

取材の時、今回の研修で基盤を確立して、オホーツク圏の看護師さんや市内の訪問看護師さんが入構する事が出来たらと、病院の近未来を話された看護副部長が印象的であった。

お二人に励ましのカードを贈呈

受講で頑張っているお二人に当会ではクリスマスカードに励ましの言葉を添えた「励ましのカード」を贈る準備を進めている。

レポート内容の指導などを看護副部長が行っている。

特定行為研修制度をご存じですか？

専門的な知識と技術が必要とされる特定行為(診療の補助)を、研修を受けた看護師が医師の指示を受けて安全に行っています。



確かなスキルを患者さんにお届けします

病院や施設において、専門的な知識と技術が必要とされる21区分38行為の特定行為研修を行っています。



ご理解とご協力をお願いいたします。

特定行為に係る看護師の研修制度

きずなカード

手洗い・うがい・マスク・3密を励行 活動再開を願う

抽選番号 07

きずなカード 令和3年10月4日

即無沙汰に可
緊急事態宣言解除!
少し明るい兆しが現れたのは嬉しいが
新しい生活様式を頑固に守り、洗ってね
事、祈ります
又、皆様の常識を社会に生かすのを
楽しみにしております

署名

下元 裕子

抽選番号 09

きずなカード 令和3年10月4日

コロナ禍によって、多くの行事が停止した状態。支援する会も同様。この会をリードしているメンバーは、もう80歳を超えてしまった。
この会を大事と考え継続するためには、若い人に担ってもらわなければならない。
この期間はある意味、どうするのか、どうしたらいいのかの時間ではないのか。
私が幾つか所属した飲食の協会は、一つは終焉し、二つ目は終焉を待っている状態。ならばそれはそれで良いと考えるのか。
もう結論が必要な時期にきている。
まだ少しの時間、継続のための考えができるのかもしれない。
皆さんの、考えは――。

署名

表 完樹

抽選番号 12

きずなカード 令和3年10月5日

北見赤十字病院を支援する会の会員の皆様
昨年から続くコロナウイルス感染症で、例会も総会も開催できず、また日赤病院の方々ともお会いすることが出来ず、残念で寂しい事です。しかし、コロナを退治しなければ、学校や会社など社会生活は円滑に進めることができません。何とか一日も早く収束できるように、日常生活にも注意しながら、自分もかからないように手洗い消毒など、気を付けたいと思います。

私事ですが、1月26日左膝を人工関節にする手術を受け、2月14日退院し今はリハビリにはげんでいます。皆様に会えるという生活の基本は人の心の中の、優しさや癒やしなどの感情が安らぎます。早く再会出来ますように願っています。これから寒さに向かっています。お体大切に。

署名

阿久津 俊子



抽選番号 06

きずなカード 令和3年10月4日

なんとなく気持ちが染
になって、なんとなく外
に出て、110ボの地階で、
おしそいなものをさが
したり、車で4ヨツヒリ遠出
を試してみたり。
コロナがこのままおさま
ってくれたらいいな、と思う
けれど、さて、どうなんだ
ろう。早く、会いたいの。おしゃ
べりがしたい。ねえ、皆さん!

署名

谷川 勝男

令和2年2月、北見卸センターで開催された展示会で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生。北見赤十字病院は対策本部を立ち上げ、厳しい感染症治療に挑む日々が続く。当会の活動も自粛に追い込まれ、令和2年4月8日、当分の

間、会の活動休止を会員の皆さんにお知らせした。活動休止した後、会員との対話が疎遠になり、このままで活動が再開されるのは不安に感じ、はがきを書きよめ、はがき交換例会を始めた。このは

きずなカード新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

北見赤十字病院の役職員の皆さまに感謝

抽選番号 11

きずなカード 令和3年10月11日

日々の流れは早いもの。朝夕は、めっきり涼しさを増し、秋の目差しに、木の葉も映え、眺めるこの身を楽しませてくれるそんな季節を迎えられたが、皆様には、お変わりなくお過ごしのことと拝察致します。

皆様との、1日も早い再会を願っております。私事、過日連合会主催のウォークラリーに参加、秋日和の中、雑談を交わし、楽しい一時を過ごしました。又、5月10日、連盟主催のラジオ体操、コロナ禍で、1ヶ月程自宅実施となりましたが、数日、雨の日を除き10月10日迄、150日を記録し、連続17年を無事終了、今後も、健康維持に、心がけたいと思っております。

署名 阿部 寿子

抽選番号 05

きずなカード 令和3年10月14日

山の紅葉と、すっかり色づき、秋の深まりを感じる頃となりました。コロナ第5波もようやく落ち着き、街中の人出も少なくなってきたようです。

北見赤十字病院の皆様との交流再開を心待ちにしています。今回のコロナの経験をふまえると、居住の地域にしっかりと、医療機関があるか、どうかで、健康の格差につながっていくことをあらためて痛感するところです。

「愛する日赤さん」のお力はいかに続ければ、署名 長南 幸子 精進します!!

抽選番号 13

きずなカード 令和3年10月14日

こんにちは。秋も深まり、ナナカマドが綺麗な色をまとい、人恋しい今日この頃です。お元気にお過ごしのことと想像しています。会の運営では大変お世話になり、有り難うございます。

10月14日の一日当たりのコロナ感染者数は北海道が45名(オリンピック札幌マラソンの開催後2週間目の8月22日は529名)、東京が62名(東京オリンピック閉会2週間後の8月22日は4392名)で、コロナ感染の勢いは大きく弱まっています。

コロナ感染者が身近に感じたニュースも有りましたが、会員の皆さんからはこのような事を聞かず、大いに安堵しています。

3回目のワクチン接種のスケジュールも見えてきました。今少し我慢すれば、皆さんとface&aceでお目にかかる事が出来ると楽しみにしています。

お元気で

署名 逢坂 信治

抽選番号 02

きずなカード 令和3年10月14日

支援する会の皆様、いかがお過ごしでしょうか?

今日は緊急事態宣言も解除となり、長女が登別〜セコ方面へ修学旅行に出かけることができました。今は、文化祭や学芸会を控え、練習に励んでいます。

これから寒くなつて参りますので、皆様、お身体を大切に、健康に過ごされますよう。

署名 森 貴 結 佳

がきを「きずなカード」と呼び、同時に会員への情報提供には「きずなニュース」を発行する事にしたのが令和2年9月である。その後、はがき交換例会は続き、今回、はがきの番号で抽選を行い、当選者に商品券を贈る企画を実施。会員3名に景品の日専連商品券を贈りました。会の活動再開を願います。手洗いやうがい、マスクの着用、3密を避け、感染予防の日々を過ごし、会員の皆さんにお目にかかる日を待ち望んでいます。

きずなカードを読んで

北見赤十字病院 総務課長 鈴木真一

北見赤十字病院の明日を考え支援する会の皆様、日頃、当院の運営並びに赤字事業に対しご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

先日、「きずなカード」を読ませていただきました。近況報告や、早く新型コロナウイルスが終結して皆で会いたい等、会員皆様のおかげが垣間見え、微笑ましくなりました。明けない夜はありません。新型コロナウイルスもワクチン、飲み薬等で必ずカゼ程度になる日が来ます。その際にはまた当院にいらしていただき、いろいろな情報交換を行いたいと思います。話しは変わって病院の最近の動きです

が、11月5日、北見市立南中学校の生徒さんからモザイクアートの寄付を受けました。当院職員に向け「危険な仕事にあたり、私たちの命を守ってくれありがとう」という感謝のメッセージを生徒総勢318名が折り紙に書き、それらをきれいにデザインしモザイクアートに仕上げたものです。遠くから見ると「ありがとう」という文字と「両手にハート」という絵が現れます。これに勇気をもらいこれからも新型コロナウイルス対応をしっかり行なって参りたいと思います。ただ今、当院のアトリウムに飾る計画をたてているところです。

更には変わって、

当院は常に職員募集を行っています。特に困っている職種は医師、看護師、薬剤師、言語聴覚士、保育士がなかなか定

員に達しません。皆様の周りで心当たりがあれば是非お声かけいただき、当院のホームページをご覧になったらと思います。皆さまとお会いできる日を心待ちにしております。

今後とも当院をよろしく願いたします。



ホワイトイルミネーション

北見赤十字病院前光の華

北見赤十字病院前の小公園を発光ダイオード(LED)ライトで彩る「がんばろう北見！」応援ホワイトイルミネーションが点灯。日々奮闘している病院の役職員の皆さんに感謝の気持ちを伝えようと幻想的な光の華は来年1月末日まで輝き続ける。



本誌の直前号・25号の発行が令和元年12月23日であった。本号の発行までコロナ渦のため2年間ほど休刊していた。

その間、当会の活動自粛の日々が続いている。

2回目ワクチン接種がほとんど完了して、3回目接種の具休策がようやく国から発表され、そろりと本誌の発行を試行した。

今回、本誌の一面は「特定行為研修」の特集です。北見赤十字病院・看護部副部長の日高さんに多忙の中、取材のご協力を戴きました。本欄を借りて厚くお礼を申しあげます。

何かと気ぜわしい師走です。

手洗いやうがい、マスクの着用、3密回避などを励行して、良き新年をお迎え下さい。(逢坂)

